

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 10 月 16 日 (2014.10.16)

【公開番号】特開 2013-58595 (P2013-58595A)

【公開日】平成 25 年 3 月 28 日 (2013.3.28)

【年通号数】公開・登録公報 2013-015

【出願番号】特願 2011-195889 (P2011-195889)

【国際特許分類】

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

H 0 5 K 5/06 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 5/02 V

H 0 5 K 5/06 D

H 0 4 N 5/225 E

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 9 月 3 日 (2014.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導電性を有する第 1 のシール部材と、
弾性材料で形成された第 2 のシール部材と、
導電性の第 1 の筐体と、
導電性の第 2 の筐体と、

前記第 1 の筐体と前記第 2 の筐体とを接合する接合部を有し、前記接合部は、前記第 1 のシール部材が装着される第 1 の装着部と、前記第 1 の装着部より外気側に形成され前記第 2 のシール部材が装着される第 2 の装着部と、前記第 2 の装着部と前記第 2 のシール部材との接触部よりも外気側に形成された防食用の保護層とを有する本体とを具備する電子機器。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の電子機器であって、
前記接合部は、前記第 1 の筐体に形成された第 1 のフランジ部と、前記第 2 の筐体に形成された第 2 のフランジ部とを含み、
前記第 2 の装着部は、前記第 1 のフランジ部に形成され前記第 2 のシール部材を収容する溝部と、前記第 2 のフランジ部に形成され前記溝部と対向する平面部とを有する電子機器。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の電子機器であって、
前記溝部は、前記保護層が形成される第 1 の領域と、前記保護層が形成されない第 2 の領域とを有する電子機器。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 に記載の電子機器であって、
前記第 1 のフランジ部は、前記第 2 のフランジ部よりも外側に突出し、

前記平面部は、前記溝部の一部を被覆する
電子機器。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のうちいずれか 1 項に記載の電子機器であって、
前記保護層は、塗膜である
電子機器。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の電子機器であって、
前記塗膜は、吹き付け塗膜である
電子機器。